



立春

2月4日（火）

節分を過ぎると、暦の上では春となります。最近では、気候変動と言えるような季節のずれを感じる事が多くなりました。「季節外れの」という言い方も頻繁に使うようになってきているようにも思います。四季の豊かさを感じることができるのが、日本の良さでもあると思います。

昨日、本校46回卒業の久保孝雄様より、丁寧なお手紙に添えて「久保孝雄詩歌集 詩歌日記で綴る 人生の四季」を郵送にて献本していただきました。

久保様は、神奈川県副知事や日本初のサイエンスパーク「かながわサイエンスパーク」の運営会社(株)ケイエスピー代表取締役社長をはじめ様々な要職を歴任された方で、国内にとどまらず広範囲に渡って国際的な活躍をされています。

校歌の一説「立てや筑麓健男児 漲る雄図示すべし」を胸に自らを鼓舞して難局を乗り越えたお手紙に書いておられます。本校の卒業生には、久保様のように、下妻一高で学生時代を過ごしたことを糧に多方面で活躍されています。このような機会に触れるたびに、私も卒業生の一人として心強く、誇らしい気持ちになります。

久保様、ありがとうございました。

